

記載例

様式第 73 号（細則第 81 条）

入林届（無人航空機を飛行させる場合の入林届）

1週間以上余裕を持って提出願います

令和6年3月1日

申請者 住所 秋田県秋田市中通5丁目9番16号
氏名 東北 一郎
連絡先 018-836-2025

秋田森林管理署長 殿

管轄する森林管理（支）署へ提出願います
参考：https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/apply/nyurin/cyoujuunyuurinn_27.html

下記により、国有林野内において無人航空機を飛行させるので入林届を提出します。

各森林管理（支）署の入林届のページに国有林住所が記載されたPDFファイルがあるため確認願います
不明な場合は〇〇県〇〇市（町村）〇〇林班ほか
〇〇県〇〇市（町村）〇〇山周辺等でも可

記

- 1 入林の場所 秋田県秋田市〇〇字〇〇国有林〇〇林班〇〇小班（別添位置図のとおり）
- 2 入林の期間 自 令和6年3月23日 至 令和6年3月31日
- 3 入林の目的 ドローンを使用した風景の撮影
- 4 無人航空機を飛行させる場所等
 - 無人航空機の飛行場所又は経路（別途図面を添付）：別添位置図のとおり
 - 無人航空機の飛行日時：3月23日～31日のうち 10時～14時の好天時
 - 無人航空機の飛行目的：風景の撮影（個人的に楽しむため）
 - 無人航空機の飛行高度：150m未満
- 5 入林者氏名（申請者以外）
氏名、連絡先 東北 二郎 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇（入林者名簿のとおり）
※入林者が多数の場合は、別途入林者名簿を添付願います。
- 6 注意点の確認
以下の注意点を確認した上で無人航空機を飛行させます。
※ □内にチェック願います。
 - 無人航空機の飛行にあたっては、航空法等関係法令を遵守し、これに基づく必要な手続をとること。
 - 事故防止に万全を期すこと。特に国有林野職員から指示があった場合、これに従うこと。
 - 第三者のいない上空で飛行させること。また、第三者の立入等が生じた場合には速やかに飛行を中止すること。
 - 国有林野の貸付地上空について、貸付地の管理者が無人航空機の飛行ルールを定めている場合、当該ルールを遵守して飛行すること。
 - 不必要な低空飛行、高調音を発する飛行、急降下など、人や物件等に迷惑を及ぼすような飛行を行わないこと。特に一般の入林者や他の国有林野事業の受託者等への危害又は迷惑となる行為を行わないこと。
 - 希少な野生生物が生育・生息している地域では、営巣期間中は避ける等、生育・生息に悪影響を及ぼさないように飛行させること。特に営巣箇所が見られた場合は、当該箇所及びその周辺で飛行させないこと。
 - 無人航空機による事故が生じた場合又は無人航空機を紛失した場合は、速やかに森林管理署等に連絡すること。
 - 無人航空機の回収は入林者の責任で行うこと。
 - 別紙の入林に際しての遵守事項を守ること。

年度をまたぐ場合は再度入林届を提出願います

目的は詳細に記載願います
（企業への素材提供のため）（環境調査のため）等

特定飛行に該当するか等、航空局で策定しているガイドラインや航空法等を遵守願います
参考：国土交通省航空局（外部リンク）
https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000003.html

内容を確認のうえチェック願います

無人航空機の登録記号：JU123A456789

空いたスペースへ記載願います

(別添)

入林者名簿

氏名	氏名
東北 一郎	東北 二郎
東北 三郎	
備考	

※入林届の提出時に入林者を確定できない特段の理由がある場合、記載は不要。その場合、備考にその理由を記載。

【別紙】

【入林に際しての遵守事項】

入林される際は、下記の事項について入林者全員へ周知し確実に遵守されるよう対応をお願いします。

記

一般的な事項について

- 入林は、自己責任が原則です。天候や現地の情報を確認し、十分な装備で入林してください。
- 悪天候時には滑落、落石、倒木、崩壊等の危険性が高まるため、入林を控えてください。
- 当森林管理署等職員が入林届の提示を求めることがありますので、入林の際には入林届を携帯するとともに、森林管理署等職員の指示に従ってください。車両を使用し入林する場合には、入林届をダッシュボードなどの見える位置に置いてください。
- 立入制限の標示がある区域には、立ち入らないでください。
- 国有林内での火気の取り扱いには十分注意してください。たき火、タバコの投げ捨ては行わないでください。
- ごみは必ず持ち帰ってください。不法投棄には厳しい罰則が設けられています。
- 林道のゲートや鍵は絶対に壊さないでください。（※器物損壊罪が適用される場合があります。）
- 動植物の保護に御協力ください。

その他

- 立木の伐採、損傷及び土地の形質変更を行う場合、許可が必要です。無断でこれらの行為を行った場合には法により罰せられることがあります。
- 万が一、事故や災害に遭った場合には一切の責任を負いかねますので、御了承ください。

特記事項

※車両により入林される方、複数人での入林を計画されている方、調査等を目的として入林される方は裏面も御覧ください。

車両により入林される方へ

林道は道幅が狭い上、見通しも悪く、落石や土砂崩れなど危険の恐れがありますので、次の事項を遵守し、通行願います。

- ・スピードを落として安全運転をお願いします。
- ・カーブは徐行し、クラクションを鳴らすなど、出会いがしらの衝突に注意するとともに、昼間でもヘッドライトを点灯するなど、対向車に注意しながらの運転に努めてください。
- ・林道上は駐車禁止です。駐車する必要がある場合は、他の車両通行を妨げないよう待避所・車回し場所等に駐車してください。
- ・林道の安全が確保できない場合や、当署等の事業実行に支障がある場合はゲートを閉鎖・施錠しています。通行禁止となっている林道には、絶対に車両を乗り入れないでください。

複数人での入林を計画されている方へ

- ・参加者の安全には十分配慮し、事故等が発生しないよう気をつけてください。
- ・参加者に万一事故が発生した際のことを考慮し、緊急時の体制を整えてください。

調査研究活動等を目的として入林される方へ

- ・調査研究用試料等の採取を行う場合には、必要最小限度に留めてください。なお、高山植物等の採取を行う場合には、別途申請書を提出してください。
- ・調査中は森林管理署等へ入林届をして調査していることが第三者にわかるように表示してください。特に一般の方の立ち入りを禁止している場所で作業する際は、標識や腕章等を用いて、承諾を受けていることがわかるようにし、第三者が入り込まないような対応をお願いします。
- ・使用した機材、標識等は、調査研究活動が終わり次第撤去してください。

別添 位置図

位置図は出来るだけ以下のページにある国有林野施業実施計画図を添付願います
※ネット地図等でも良いですが飛行場所が分かるように位置図を作成願います
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/keikaku/kokuyuurinzumen.html>

なお、飛行場所や内容によっては追加資料の提出や変更をお願いすることがあるため、余裕を持った日程で提出願います

